

V 点検評価員の意見について

令和2年度分の教育委員会の事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価に当たって、客観性を確保するため、学識経験を有する方から意見を頂きました。

1 利根町教育委員会事務点検評価員（学識経験者）（50音順 敬称略）

氏名	備考
川村 啓三	・元白井市立桜台中学校長 ・元利根中学校講師
久保田 敏弘	・元利根町役場職員（生涯学習課課長補佐）

2 意見聴取日等

- (1) 第1回 令和3年10月13日（水） 場所 利根町役場5階C会議室
(2) 第2回 令和3年11月5日（金） 場所 利根町役場5階A会議室
(3) 第3回 令和3年11月15日（月） 場所 利根町役場4階A会議室

3 主な意見

(1) 全体に関する意見

○各課の事業評価シートを見ると、全体的に先を見据えながら事業に取り組んでいる点は評価できる。先行きが不透明な時代であるがゆえに、さらに、より多くの情報や町民の声を収集し検討を重ね、事業のより一層の充実・向上に努めてもらいたい。

●前年度の点検評価員からも指摘され、以前の様式と変更され記載欄が狭くなっているが、点検・評価するうえでは、「事業業績」の欄に数値等の記載がないと評価しにくいので、町民の方が見てもわかるような記載をお願いしたい。

●次年度に向けて、マネジメントサイクルの評価部分が最も大切です。全体的には良好と思われませんが、前年度踏襲のような感じが見受けられる評価シートもあるので、定型の事業にしても、「今後の方向性」の欄は、改善について検証した内容を記載し改善に努めてもらいたい。

●事務事業評価シートの「事業業績」欄の記載が少なすぎる評価シートもあるので、決算書の付属資料である主要成果説明書も参考にして作成してもらいたい。

(2) 各施策に関する意見

1 【基本施策2】特色ある学校教育の推進

●幼保小の先生方相互の授業参観を実施するなど、幼保小連携をさらに進めていただきたい。また、令和5年度に小学校が統合されることから、小中連携の中身についても充実を図ってもらいたい。（指）

- 算数・数学に特化した非常勤講師の配置，学習支援の取り組みは高く評価できる。今後も継続してもらいたい。(指)
- コロナ禍の中，急激に進んだGIGAスクールの環境整備，児童生徒1人1台のPC整備については，評価したい。今後は，コロナ禍でのオンライン学習などの検討をお願いしたい。(学)
- GIGAスクール構想の進展の中，PC操作に個人差が生じることを念頭に置き，ICT支援員の派遣はより一層必要となると思うので，費用等もあるが回数を増やすことについて検討していただきたい。(学)
- 中学校の図書室に整備すべき蔵書数の基準が下回っており，改善を進めるとともに，小学校統合を機に町の図書館，小学校の図書室との連携についても検討してもらいたい。(学)
- いじめの問題や学校への不適應などの様々な問題は，人それぞれ考え方やとらえ方が違うので，スクールソーシャルワーカーや教育相談員を活用し，個々の実情に合った対応を継続的に行ってほしい。(指)
- 家庭教育セミナー事業については，コロナ禍の中，開催が難しいとは思いますが，教育の基本は家庭教育にあり，テーマ内容や開催日時など工夫して実施してもらいたい。(生)

2 【基本施策3】 学びやすい生涯学習環境の整備

- 子どもの体験事業の推進では，英語教室事業，子ども自然体験事業など学校では体験できない事業ですので，今後も継続して実施してほしい。(生)
- 文化センター講座事業やふれあい楽集講座事業などアンケートを実施するなどして，住民のニーズに応じた学習講座の開催をしてもらいたい。(生)
- 生涯学習施設や図書館など施設の老朽化が進んでいるので，利用者の安全と快適に利用してもらうためにも必要な施設の修繕等実施してもらいたい。(生)

3 【基本施策4】 参加しやすい文化・スポーツ環境の整備

- 町の歴史を明らかにするため，古文書のデジタル化，資料の整理・保存については評価できる。また，町の歴史紹介，歴史講座，歴史散策など継続して実施するとともに，歴史ボランティアの育成もお願いしたい。(生)
- 町民運動会，駅伝大会などが縮小や改善となっています。事業は継続して行うための事業の見直しを図る内容との説明をうけましたが，町民にもわかるよう具体的に記載してもらいたい。(生)
- 地域のスポーツ振興のため，今後も各スポーツクラブ等，地域の指導者，協力者の発掘をお願いしたい。(生)

※改善を望む意見は●で表記しています。

(学) 学校教育課，(指) 指導課，(生) 生涯学習課